

## 第10章 大学運営・財務 (2) 財務

## (1) 現状の説明

点検評価項目①：教育研究活動を安定して遂行するため、中・長期の財政計画を適切に策定しているか。

## 【評価の視点】

- 1：大学の将来を見据えた中・長期の計画等に則した中・長期の財政計画の策定  
2：当該大学の財務関係比率に関する指標又は目標の設定

1) 2020(令和2)年3月に、教育・研究活動及び大学運営に係る事業に関する中期目標を達成するための計画(2020(令和2)年4月～2025(令和7)年3月)を策定した。

(大企画1-1 事業に関する中期的な計画)

2) 中・長期的な財務計画は、毎年10月に経理単位ごとに「10年間の収支見通し」を策定し、理事会において審議している。今後10年間の収支状況を資金収支・事業活動収支の面から見通すもので、長期的な収支の動向や大きな設備投資計画等を把握することにより、法人の中・長期的な課題や今後の資金繰りなどが検討されている。

(大財務1-1 10年間の収支見通し)

点検評価項目②：教育研究を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。

## 【評価の視点】

- 1：大学の理念・目的及びそれに基づく将来を見据えた計画等を実現するために必要な財務基盤(又は予算配分)  
2：教育研究の遂行と財政確保の両立を図るための仕組み  
3：外部資金(文部科学省科学研究費補助金、寄附金、受託研究費、共同研究費等)の獲得状況、資産運用等

1) 「10年間の収支見通し」により、各種事業計画や設備投資計画を事前に把握し、必要な財務基盤が構築できているか理事会で検証している。また投資後は、その効果を各部門及び財務部で検証し、状況に応じて事業計画の見直しを図ることで、財務基盤の安定化に繋げている。

2) 医学部附属病院が1,525億円と前年を上回る医療収入を上げており、法人全体として教育・研究環境を整備し、高度な先進医療を実施していくための強固な財務基盤が確立されている。

3) 各部門が適正な収支管理を行っており、収支状況は安定的に推移している。良好な収支により生じたキャッシュフローを原資として、金融機関等からの借入に頼らず自己資金にて設備投資計画を実行している。

4) 科学研究費助成事業の採択状況を経年比較すると、採択件数は増加傾向にある。採択件数は、私立大学約603校中、2015(平成27)・2016(平成28)・2017(平成29)年度・2018(平成30)年度は第4位、2019(令和元)年度は5位となった。

(大研戦10-2-1 平成27年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

(大研戦10-2-2 平成28年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

(大研戦10-2-3 平成29年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

(大研戦10-2-4 平成30年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

(大研戦10-2-5 令和元年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

## 第10章 大学運営・財務 (2) 財務

科学研究費助成事業の採択状況 (千円)

年度	採択件数	直接経費	間接経費	合計
平成27年度	443件	671,950	199,965	871,915
平成28年度	474件	663,900	199,170	863,070
平成29年度	473件	708,600	212,580	921,180
平成30年度	501件	761,700	228,510	990,210
令和元年度	543件	878,210	261,135	1,139,345

- 5) 民間企業からの外部資金も長期的・安定的な財務基盤を確立するために大切な資金調達方法の一つであり、本学の共同研究費、受託研究費の獲得状況は増加傾向にある。

共同研究・受託研究受入実績 (千円)

年度	共同研究		受託研究	
	件数	金額	件数	金額
平成27年度	32件	108,025	181件	972,793
平成28年度	79件	354,632	243件	873,672
平成29年度	103件	535,234	256件	877,867
平成30年度	141件	738,632	274件	1,207,886
令和元年度	161件	1,008,799	308件	1,542,602

- 6) 資金運用は、理事会で承認された「資金運用計画」に基づき、安全且つ有利に運用し、その果実をもって本学の発展に資することを目的に行っている。「資金運用計画」は、総務局長・財務部長・実務担当者を中心に構成された資金運用委員会にて立案し、学外有識者から聴取した客観的な意見を踏まえ、結果は理事会に報告している。また当該委員会にて、資金運用状況の分析・評価を行なっている。運用対象商品は円建て債券、金銭信託、信託受益権などで、BBB リスク相当以上の格付けを有する債券等にて運用を行っており、また元本変動リスクのある金融商品及び期間5年超の中長期の資金運用については、予め理事長又は理事会の承認を得て実行するよう定められている。

(大財務10-2-1 順天堂資金運用規程)

(大財務10-2-2 資金運用委員会施行細則)

- 7) 私学事業団のデータベース(2018(平成30)年度決算値)から抽出した他大学(医歯他複数学部)の財務関係比率(平均値)と比較すると、本学の比率は概ね良好であり安定的に推移しているといえる。特に純資産構成比率及び流動比率の割合が高いことから、財務状況は健全であるといえる。また大学キャンパス・ホスピタル再編事業による投資額の増加にも拘らず、2019(令和元)年度の財務関係比率も堅調に推移している。

(※他大学の最新の集計データが2018(平成30)年度につき、本学も2018(平成30)年度の財務状況にて比較している。)

(大財務10-2-3 学校法人順天堂 平成30年度事業活動収支計算書)

(大財務10-2-4 学校法人順天堂 平成30年度貸借対照表)

(大財務10-2-5 学校法人順天堂 平成30年度基本金明細表)

(大財務10-2-6 学校法人順天堂 令和元年度事業活動収支計算書)

(大財務10-2-7 学校法人順天堂 令和元年度貸借対照表)

## 第10章 大学運営・財務 (2) 財務

- (大財務 10-2-8 学校法人順天堂 令和元年度基本金明細表)
- (大財務 10-2-9 平成30年度 事業活動収支計算書-大学法人-)
- (大財務 10-2-10 平成30年度 貸借対照表-大学法人-)
- (大財務 10-2-11 財務計算書類(写) 2015(平成27)～2019(令和元)年度)
- (大財務 10-2-12 学校法人順天堂 令和元年度財産目録)

事業活動収支計算書関係比率	本学	医歯他複数学部	[ご参考] 全大学法人
該当法人数	1	36	549
人件費比率	35.8%	44.1%	49.0%
教育研究経費比率	57.2%	48.2%	40.0%
事業活動収支差額比率	4.5%	3.2%	4.0%
基本金組入後収支比率	114.7%	104.1%	105.6%

貸借対照表関係比率	本学	医歯他複数学部	[ご参考] 全大学法人
純資産構成比率	84.1%	80.6%	85.7%
流動比率	474.9%	216.6%	238.1%
総負債比率	15.9%	19.4%	14.3%
負債比率	18.9%	24.0%	16.7%
退職給与引当特定資産保有率	34.5%	44.5%	58.3%
基本金比率	99.2%	96.7%	97.2%

### 点検評価項目③：予算編成及び予算執行は適切に行っているか。

#### 【評価の視点】

#### 1：予算執行プロセスの明確性及び透明性

- ・内部統制等
- ・予算執行に伴う効果を分析し、検証する仕組みの設定

1) 予算編成は、10月の理事会で定める「10年間の収支見通し」、「予算編成方針」を基本方針として行う。予算は経理単位ごととしており、各経理単位において執行部署から申請された予算を各経理単位の会計課・総務課等で取りまとめ、各学部長や病院長・事務(部)長が収支状況や設備投資計画、特殊要因などを検討して経理単位ごとの予算案を作成する。この予算案の申請を受け、法人財務部では予算計上の妥当性や法人の運営方針に沿っているかなどを精査のうえ、法人全体の収支を勘案して予算案を作成する。作成された予算案は評議員会、理事会で審議され決定される。以上のとおり、申請された予算について3段階の検討を経ることで予算編成の適切性を確保している。

2) 予算執行にあたっては予算実行権限内規が定められ、支出の種類・金額に応じて実行権限者は各経理単位の事務(部)長から理事会まで規定されており、この実行権限者の承認の下執行されるため、執行ルールは明確である。

(大財務 10-2-13 学校法人順天堂予算実行権限内規)

3) 高額な医療機器等の購入に際しては、価格の妥当性等を検証するため理事長の諮問機関である設備投資委員会に上申することが定められている。各申請部門は、見積り合わせを複数社で実施することが求められ、最終価格交渉は当該委員会にて実施している。また経済的効果を検討したうえで導入の可否を決定するなど費用対効果を分析している。機器の導入後は、

## 第10章 大学運営・財務 (2) 財務

計画通りに稼働しているか追跡調査を行っている。

(大財務 10-2-14 設備投資委員会運営要領)

- 4) 物件及び役務調達に適正化を図るため、2016(平成28)年3月1日付けで「学校法人順天堂購買規程」を制定している。物件等を調達する際は、その性質や調達金額に応じて、調達・検収・支払部署(担当)を別にし、承認権限を分散させることで不正防止の仕組みを構築している。また、取引先を選定する際は、原則3社以上の見積り合わせを実施し、購入価格の適正化を図っている。

(大財務 10-2-15 学校法人順天堂購買規程)

- 5) 財産状況、業務執行状況等に関する監査を定期的実施している。本学は首都圏を中心に6つの学部、6つの附属病院を有しており、例年、そのうち複数の拠点を監査対象地区として監事が出向いて監査を行っている。学外監事2名に、後述の内部監事も同行しており、複数名による監査体制を整備しているため、監査の方法・プロセスの適切性を確保しているといえる。会計帳簿の監査をはじめ、管理状況等に関する地区幹部へのヒアリング、意見交換のほか、労務管理、医療安全管理、災害対策等、毎年テーマを決めて実態の把握、問題点の抽出・指導など具体的・実効的な監査を実施している。また、理事会・評議員会に出席し、利益相反の防止や調達過程の健全性維持等に関する各種報告書の検証及び役職員との情報交換を行っている。期中及び決算時期においては監査法人から状況の報告を受け、意見交換を実施している。監事は監査終了後、監査結果に関する報告書を作成し、理事会に提出している。更に学内の内部監査の充実を図るため2015(平成27)年4月より「内部監査の実施に係る取扱要領」が制定され、内部監事による業務及び財務会計に関する内部統制の整備並びに運用状況の検証及び評価を行い、業務執行の効率化・適正化及び会計処理の適正化を図っている。また、前述の監事による地区監査への同行や法人全体に関わる事象についての補足説明等、監事の職務実行のサポートを行っている。

(大財務 2-1 監事の職務執行状況)

(大財務 2-2 監査報告書 2015(平成27)～2019(令和元)年度)

(大財務 10-2-16 内部監査の実施に係る取扱要領)

## (2) 長所・特色

- 1) 本学は、教育・研究・診療の充実を図るため、良好な収支状況の下、以下のとおり大きなプロジェクトを実施し、大きく発展を遂げている。
- ・2002(平成14)年度 東京江東高齢者医療センター受託運営開始
  - ・2004(平成16)年度 医療短期大学を医療看護学部へ改組、浦安病院増床
  - ・2005(平成17)年度 練馬病院開院
  - ・2006(平成18)年度 静岡病院増床
  - ・2007(平成19)年度 大学院医療看護学研究科(修士課程)開設
  - ・2010(平成22)年度 保健看護学部開設
  - ・2013(平成25)年度 大学院医学研究科(修士課程)開設、順天堂医院新病棟(B棟)竣工
  - ・2014(平成26)年度 大学院医療看護学研究科(博士後期課程)開設
  - ・2015(平成27)年度 国際教養学部開設
  - ・2016(平成28)年度 静岡病院・高齢者医療センター増床

## 第10章 大学運営・財務 (2) 財務

- ・2017(平成29)年度 浦安病院3号館竣工
- ・2018(平成30)年度 新研究棟(A棟I期)竣工
- ・2019(令和元年度) 保健医療学部開設・練馬病院3号館竣工

2001(平成13)年度までは負債が自己資金を上回っていたが、全法人で構造改革に取り組んだ結果、2002(平成14)年度に解消した。金融機関借入金についても1994(平成6)年度に447億円あったものを、2018(平成30)年度に完済しており、総負債比率は16.2%となっている。

大学キャンパス・ホスピタル再編事業は、順調に進行しており、本郷地区では2020(令和2)年度に新研究棟(A棟II期)が完工予定であり、静岡病院では新病院棟の建設工事、練馬病院では既存棟の大規模改修工事が進められている。また2022(令和4)年4月には、本学7つ目の学部を浦安日の出地区に開設することを検討中である。いずれの学部・附属病院でも新規事業が計画・実行されており、先進的な事業を展開している。2018(平成30)年度決算において、事業活動収入で事業活動支出を賄うことが出来ない財政不安を抱える大学が36.3%に上るといふ厳しい環境の中、本学の収支状況は極めて良好であり、再編事業の推進や新学部の開設計画等と共に教育・研究・診療環境の更なる充実化を図っている。

(大財務10-2-17 令和元年度 事業報告書 「26.財務状況の推移」)

(大財務10-2-18 月報私学 「令和2年2月号」p.3)

- 2) 競争的資金の導入についてはこれを積極的に推進した結果、文部科学省科学研究費助成事業で令和元年度に543件(1,139,345千円)が採択されており、この実績は私立大学の中でも上位に位置している。また、奨学寄付金などの寄付金と受託研究費などの受託事業収入を合わせた金額は令和元年度で約47億円に上り、研究推進の一助となっている。

更なる発展方策として、競争的資金の導入について、URA等の充実・活用により、更に積極的に推進する。

(大研戦10-2-5 令和元年度科学研究費助成事業交付決定一覧)

(大財務10-2-6 学校法人順天堂 令和元年度事業活動収支計算書)

- 3) 格付投資情報センター(R&I)から、2019(令和元)年6月に、「AA(ダブルAフラット)」の評価をもって格付けが維持された。2007(平成19)年8月に初めて格付けを取得して以来、継続して「AA」を維持しており、極めて高い格付けを有している。

更なる発展方策として、格付け評価の更なる向上を図るべく財務内容の強化・充実に努める。

(大財務10-2-19 格付投資情報センター NEWS RELEASE)

### (3) 問題点

なし

### (4) 全体まとめ

本学は、堅調な基本金組入前当年度収支差額を維持しつつ、有利子負債の返済を進め、自己資金の充実を図ってきた。今後も、基本金組入前当年度収支差額を指標とした好調な収支状況を維持するため、積極的に公的及び民間からの研究資金等外部資金の獲得に努め、医療収入については国の医療政策に迅速に対応し、適切かつルールに則った論理的な診療を行っていく。また、費用対効果の意識を徹底し、経費の合理化・低減化を図っていく。事業計画が滞りなく進捗するよう各部門・部局は適切な予算編成・予算執行を行い、更に法人全体の相互協力によ

## 第10章 大学運営・財務 (2) 財務

り安定的な財政基盤を構築していく。

## 第10章 大学運営・財務 (2) 財務

## (5) 根拠資料

資料 No.	各部署の 資料整理No.	資料名称
1	大企画 1-1	事業に関する中期的な計画
2	大財務 1-1	10年間の収支見通し
3	大研戦 10-2-1	平成27年度科学研究費助成事業交付決定一覧
4	大研戦 10-2-2	平成28年度科学研究費助成事業交付決定一覧
5	大研戦 10-2-3	平成29年度科学研究費助成事業交付決定一覧
6	大研戦 10-2-4	平成30年度科学研究費助成事業交付決定一覧
7	大研戦 10-2-5	令和元年度科学研究費助成事業交付決定一覧
8	大財務 10-2-1	順天堂資金運用規程
9	大財務 10-2-2	資金運用委員会施行細則
10	大財務 10-2-3	学校法人順天堂 平成30年度事業活動収支計算書
11	大財務 10-2-4	学校法人順天堂 平成30年度貸借対照表
12	大財務 10-2-5	学校法人順天堂 平成30年度基本金明細表
13	大財務 10-2-6	学校法人順天堂 令和元年度事業活動収支計算書
14	大財務 10-2-7	学校法人順天堂 令和元年度貸借対照表
15	大財務 10-2-8	学校法人順天堂 令和元年度基本金明細表
16	大財務 10-2-9	平成30年度 事業活動収支計算書-大学法人-
17	大財務 10-2-10	平成30年度 貸借対照表-大学法人-
18	大財務 10-2-11	財務計算書類 (写) 2015(平成27)~2019(令和元)年度
19	大財務 10-2-12	学校法人順天堂 令和元年度財産目録
20	大財務 10-2-13	学校法人順天堂予算実行権限内規
21	大財務 10-2-14	設備投資委員会運営要領
22	大財務 10-2-15	学校法人順天堂購買規程
23	大財務 2-1	監事の職務執行状況
24	大財務 2-2	監査報告書 2015(平成27)~2019(令和元)年度
25	大財務 10-2-16	内部監査の実施に係る取扱要領
26	大財務 10-2-17	令和元年度 事業報告書 「26.財務状況の推移」
27	大財務 10-2-18	月報私学 「令和2年2月号」 p.3
28	大財務 10-2-19	格付投資情報センター NEWS RELEASE